

諫早市生成A I サービス利用環境構築業務プロポーザル評価基準

【一次審査（書類審査） 提案内容評価点】

項番	項目	記載事項	評価基準	配点
1 提案コンセプト				
	①仕様書等の理解	・本業務の目的を達成するための手法や考え方、取組み、運用に対する方針について記述すること。	・本業務の目的達成に向けた考え方、取組み方針等は適切か。	10
	②対応方針	・本業務の全体像をイメージ図又は構成図等を用いて、本業務における導入範囲を詳細に記述すること。 ・本業務において想定される課題・リスクに対する考え方や対処方法等について記述すること。	・本業務の全体像及び導入範囲について、正しく理解しているか。 ・本業務における課題やリスク、国の動向等が十分に想定されており、対処・対応方法等は適切かつ具体的なものか。	10
	③画面構成	・提案するサービスまたはシステムの画面構成について画面イメージ等を用いて記述すること。	・画面が見やすく、直感的に操作しやすいか。	20
2 実施体制				
	①実施体制	・実施主体の事業者名や役割分担、要因、資格、導入体制（体制図）を明示し、その考え方、根拠等について記述すること。 ・構築時の体制、運用保守管理体制等について記述すること。 ・再委託先がある場合、事業者名や役割分担、要因、資格、導入体制等について記述すること。 ・本業務を実現するために再委託先や本市とどのように本業務を遂行していくのかなど、進捗管理、プロジェクト管理方法、コミュニケーション管理方法等について記述すること。	・提案事業者及び再委託先の役割分担、要員、資格、導入体制、構築時の体制、保守管理体制等は明確であり信頼できる体制となっているか。 ・プロジェクト管理方法、進捗管理、コミュニケーション管理方法等は明確に記述されているか。	10
3 導入実績				
	①実績	・本業務に提案事業者が適していると評価できる実績（自治体名、人口規模、導入開始日等）、経歴等について記述すること。	・提案事業者が本提案に適していると評価できる豊富な実績があるか。	20

4 機能要件				
	①利用者数	・サービスまたはシステムの利用者数の考え方についての具体的に記述すること。 ・サービスまたはシステムへの同時接続数など制限事項等がある場合は具体的に記述すること。	・利用者数の考え方について具体的に記載されているか。 ・本市の現状（個人メールアドレスの割り当てなし）に則した提案があるか。	30
	②利用トークン数	・月ごとの利用トークン数について具体的に記述すること。 ・利用トークン数の上限を超過する場合の考え方を具体的に記述すること。	・月ごとの利用トークン数についてトークン数の考え方も含め具体的に記載されているか。 ・利用トークン数の上限を超過する場合において、追加請求が発生しない手段が講じられているか。	30
	③機能要件一覧表への対応	・別途定める「機能要件確認表」に対応可否を記載すること。	・別途定める「機能要件確認表」にて評価	200
5 運用保守				
	①障害発生時の対応について	・各種インシデント・障害発生時の復旧までの対応、体制や役割分担等について具体的に記述すること。 ・各種インシデント・障害発生時の対応について、想定されるケースごとに具体的に記述すること。	・障害発生時の責任分界点や役割分担が明確かつ具体的に記載されているか。 ・原因の切り分けや、障害対応を行う際に、各ステークホルダーとの役割分担が適切なものとなっているか。	20
	②問合せ対応について	・サービスまたはシステム利用に関する問合せを行う際の流れについて、フロー等で具体的に記述すること。	・問合せ窓口の一本化などスムーズな問合せが行えるようになっているか。	20
	③研修・支援について	・操作マニュアルの提供や研修の開催について具体的に記述すること。	・操作マニュアルの提供や研修の開催について、具体的に記載されているか。 ・研修については開催方式や開催頻度など具体的に記載されているか。	30
6 追加提案				
	①追加提案	・調達仕様書に記載のない項目で独自提案があれば記載すること。	・本市にとって有益な追加提案となっているか。	50
7 価格点				
	①構築費用	価格点 = 25点 - 価格競争点（25点）×（構築費用提案額 / 提案上限額）		25
	②保守費用	価格点 = 25点 ×（提案価格のうち最低価格 / 自社の提案価格）		25
合計				500

- ・審査項目の評価方法は価格点を除いて4段階評価とし、項目ごとの評価に応じて評点を算出する。
- ・各項目の評点は、各選定委員が個別に採点した平均点とし、その合計点を算出する。（合計点の小数点以下は四捨五入）

○提案内容（3 導入実績、4－③機能要件一覧表への対応を除く）

評 価	評 点
A （たいへん優れている）	項目の配点×1. 0
B （優れている）	項目の配点×0. 8
C （普通）	項目の配点×0. 5
D （やや劣っている）	項目の配点×0. 3

○導入実績

評 価	評 点
A 5団体以上の実績がある	20点
B 3～4団体の実績がある	15点
C 1～2団体の実績がある	10点
D 実績なし	0点

○機能要件確認表（40項目）

評 価	評 点
◎ 標準機能	5点
○ 代替機能にて対応	3点
△ カスタマイズ対応	1点
× 対応不可	0点

諫早市生成A I サービス利用環境構築業務プロポーザル評価基準

【二次審査（プレゼンテーション） 提案内容評価点】

項番	審査項目	評価基準	配点
1 提案コンセプト			
	①業務目的等の理解	・本業務の目的を理解した上で、全体のコンセプトやシステムのポイントが効果的な提案となっているか。	10
	②画面構成	・提案するサービスまたはシステムの画面構成がわかりやすく、直感的に操作しやすいものとなっているか。	20
2 実施体制			
	①実施体制	・貴社の会社概要や情報セキュリティマネジメント、生成AIに関する実績等についての説明があるか。 ・将来的にも継続していける会社であるか。 ・生成AIの開発スピードについていける体制であるか。	10
3 導入実績			
	①実績	・本業務に提案事業者が適していると評価できる実績（自治体名、人口規模、導入開始日等）、経歴等があるか。 ・導入した自治体からの評価を得ているか。 ・その評価は良好なものとなっているか。	10
4 機能要件			
	①基本的な使用方法	・サービスまたはシステムの起動、プロンプト入力、回答の表示の流れがわかりやすく、直感的に操作しやすいものとなっているか。 ・プロンプト作成支援機能（サービス埋め込み型プロンプト、プロンプトテンプレートなど）の使い方がわかりやすく、直感的に操作しやすいものとなっているか。	30
	②RAG機能	・諫早市が保有する計画書や規程などの独自データを学習させ、その内容に沿った回答を行う流れがわかりやすく、直感的に操作しやすいものとなっているか。 ・回答に使用した根拠データの参照がわかりやすいものとなっているか。	40
	③セキュリティ機能	・入力した情報や諫早市独自データを学習した内容が外部へ漏洩しない作りとなっているか。	10
	④管理機能	・利用者管理や利用トークン数管理がわかりやすく、直感的に操作しやすいものとなっているか。 ・管理者の負担を軽減させるサポート機能（一括登録、利用状況のグラフ表示など）などが備わっているか。	10
5 運用保守			
	①問合せ対応について	・問合せ窓口の一本化などスムーズな問合せ対応が行える体制となっているか。 ・電話やメールなど問合せ方法として複数の手段が用意されているか。	10
	②研修について	・職員研修の具体的な開催方法や研修内容が示されているか。 ・生成AIの基礎知識やサービスの活用方法など、生成AIの知識を有しない職員であっても理解しやすい内容となっているか。	20
6 追加提案			
	①追加提案	・調達仕様書に記載のない項目で諫早市にとって有益となる提案があるか。	30
合計			200

- ・審査項目の評価方法は4段階評価とし、項目ごとの評価に応じて評点を算出する。
- ・各項目の評点は、各選定委員が個別に採点した平均点とし、その合計点を算出する。（合計点の小数点以下は四捨五入）

○提案内容

評 価	評 点
A (たいへん優れている)	項目の配点×1. 0
B (優れている)	項目の配点×0. 8
C (普通)	項目の配点×0. 5
D (やや劣っている)	項目の配点×0. 3